



ためらわず救急車を呼んでほしい症状：大人

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！  
重大な病状やけがの可能性あります。

**顔**

- 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりくいく、うまく話せない
- 視野がかける
- ものが突然二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

**頭**

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないくらい急にふらつく

**胸や背中**

- 突然の激痛
- 息が切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような痛みが2-3分続く
- 痛む場所が移動する

**手足**

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

**腹**

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある

**意識の障害**

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)
- ぐったりしている

**けいれん**

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

**けが・やけど**

- 大量の出血を伴う外傷
- 広範囲のやけど

**吐き気**

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

**飲み込み**

- 食べ物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい
- 酸なものを飲み込んで、意識がもどらない

**事故**

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

◎ その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

いずれかに該当  
消防庁HPより引用

119番に通報をすると、

- ・まず、“火事ですか？救急ですか？”と問われます。“救急です”と伝えましょう。
- ・以下、指令員(救急隊員)が必要な事を順番に尋ねます。落ち着いて、解る範囲で正確に情報を伝えましょう。
- ・救急隊到着までは、指示に従いましょう。
- ・その場で、救急隊到着を待ちましょう。
- ・可能な範囲で、安静安楽な姿勢を保てるよう努めましょう。
- ・必要に応じ、タオルケット・保温シート等を使用しましょう。
- ・状況に応じ、119番通報後、保健管理センターに連絡してください。医師・看護師が救急隊到着まで可能な範囲の手当・観察を行います。

以下を必ず伝えてください(①③は、解る範囲で)

- ① 氏名・性別、学生番号(職員の場合は所属部署)
- ② 場所
- ③ 症状/状態、経過

**車いす・担架の使用について**

- ・車いす  
意識が明瞭で、傷病者の了解が得られた場合にのみ、短距離の移動に限って使用。
- ・担架  
使用しないでください。

いずれも、使用により、病状悪化の危険があります。

119番：学内電話からの発信は、0119  
保健管理センター：内線2492、  
学外・携帯0857-31-5065